

# 令和8年度 施政方針



浦添市長 松本 哲治

私は、平成25年に浦添市長としての第一歩を踏み出し、以来13年間全力で浦添市のまちづくりに取り組んでまいりました。4期目となる現在は、もともと市民の横に、市民と共に「をキャッチフレーズに、日々変化する地域社会の動向を注視し、その変化に柔軟に対応した市政運営を行っているところでございます。

## 物価高騰への経済対策

国の動向としましては、昨年10月高市内閣が発足し、一般会計歳出総額は約18兆円と近年ではコロナ禍を除いて最大規模であり、物価高騰対策が大きな柱となっております。これを受け、本市も物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金により、本市独自の物価高騰対策事業に広く取り組んでいくところでございます。

本市としましては、物価高騰対策事業として全市民に対し一人5千円を支給することとしました。また、水道料金における基本料金2か月分を全額免除としました。全市民が恩恵を受けることができる当該2事業の準備・実施を最優先に考え、昨年12月市議会定例会において議決をいただいたところでござ

います。加えて、0歳から高校生年代までの児童を養育する父母等に対し、児童一人当たり2万円を2月18日から支給を開始しているところでございます。

また、去る1月の臨時会におきましては、75歳以上の後期高齢者への生活支援として一人3千円の支給および児童センターを通じて子育て支援策への議決をいただきました。後期高齢者への支援につきましては、全市民への5千円支給と併せて支給することを考えており、鋭意準備を進めているところでございます。

その他、令和8年度当初予算としまして、給食費補助、コンビニ交付サービスにおける一部証明書発行手数料の減額および自治会LED防犯灯新設置補助の予算案を本議会に上程しております。特に給食費補助につきましては、市立小中学校の学校給食費を1年間全額無償化にすることにより、子育て世代への大きな支援になるものと考えております。

## 歴史の振り返りとスポーツの振興

さて、本市は昨年度市制施行55周年の年であり

ございました。節目の年にあたり、これまでの浦添の歴史を振り返り、まちづくりの基礎を築いてこられた先人に改めて感謝と敬意を表し、その歴史・誇りを未来につなげ、更なる発展への決意を新たにしたいところでございます。発展を続ける中で、浦添グスクのような昔も今も変わらぬシンボリックな場所もあれば、今後新たに浦添の顔となり、市民の更なる健康増進に寄与する場所も誕生いたします。これまでのような運動を行う機能だけではなく、多くの市民に新たに「観る」という楽しさを体感していただきたいと考えております。あわせて、陸上競技場の再整備にも鋭意取り組み、一日も早く市民の皆様にご覧いただけるようこれまで以上に誠心誠意、職員一丸となって取り組んでまいります。

## 西海岸周辺エリアづくり

将来の新たな顔として大きな期待が寄せられているのが、西海岸地区でございます。那覇港浦添頭地区につきましては、世界水準の観光リゾート地を形成するため自然環境を活かすとともに、隣接する牧港補給地区跡地との一体的利用を想定した交流・賑わい空間の創出を推進してまいります。

牧港補給地区跡地は、空港や港湾に近接した優れた立地に加え、約270ヘクタールもの広大な土地を一から開発できる可能性に満ちた夢のあるエリアでございます。現在、民間主導で設立された「GETW2050 PRO JECTS」推進協議会に参画し、跡地利用の検討が進められています。昨年、国の「経済財政運営と改革の基本方針」いわゆる骨太の方針におきまして、早期実現に向けた取り組みが明記されました。今後は当該協議会との

連携を深めながら、市民の最大化を目指しつつ、西海岸地区の将来像を描いてまいります。

## 未来を担う子どもたちと保護者のために

まちづくりにおきまして、ハード事業・ソフト事業のバランスも重要でございます。令和8年度はソフト事業にも注力しておりますが、その一つとして「未来へ翔たく太陽（ていだ）」子育て成事業がござります。当事業は、県大会で優秀な成績を収め、九州大会・全国大会等へ出場する児童生徒の保護者に対し、派遣費用の一部を補助する取り組みでございます。スポーツ・文化的活動を通じて全国の児童生徒との交流は、子どもたちにとって日頃の練習の成果を発揮する晴れ舞台であり、視野を広げる貴重な経験の場です。躍動する児童生徒を全力で応援するとともに、引き続き保護者に対し広く支援してまいります。

一言に「まちづくり」といってしまっても、さまざまな分野があり、現在の課題解決・未来への投資など時間軸を意識する必要があります。どこ、さまざまな位置づけの取り組みを同時に進行が必要でございます。広い視野に立ち、全体的なバランスを考慮しつつ、未来を見据え、持続可能なまちづくりを推進し、本市のまちづくりの目標である「太陽とみどり」にあふれた国際性ゆたかな文化都市の実現を目指し、諸施策に精一杯取り組んでまいります。

▼施政方針の一部を抜粋して紹介しています。全文は市ホームページをご覧ください。



# 今年度取り組む 主な施策

より良い浦添市を目指して

## 1 産業およびまちづくり振興

- 限られた土地を利用増進するための土地区画整理事業推進
- 東京ヤクルトスワローズ春季キャンプ時の賑わい創出や来場者に向けた市内周遊促進
- 参加者が一日を通してそれぞれの楽しみを見つげられるてだこウォークの大会づくり
- 沖縄都市モノレール3両編成車両のさらなる導入への取り組み



## 3 子育てしやすい福祉のまちづくり

- 市民一人一人の暮らしと生きがい、地域を共に創っていく地域共生社会の実現を図るため、重層的支援体制整備事業を実施
- 乳児等通園支援事業の給付制度化による本格実施
- 保育者の処遇改善を実施し、児童の受け皿確保に向けた保育人材の確保
- 高齢者が地域で自分らしい生活を送ることができるよう、地域の課題や資源の把握、サービス等の拡充



## 2 教育および文化振興

- 市立小中学校児童生徒の学校給食費を全額無償化し、物価高騰等による保護者の経済的負担を軽減
- 老朽化した沢岨小学校の屋内運動場の改築事業の実施
- 熱中症予防および避難所としての防災機能強化のため市内小中学校体育館への空調設備の整備
- スクールロイヤー制度を実施し、学校で生じるさまざまな諸問題の未然防止や深刻化を防ぐ
- 学校・家庭・地域が連携し、地域学校協働活動をコミュニティ・スクールと一体的に推進



## 4 安心安全で快適な環境のまちづくり

- 公園施設の更新および維持保全による市民の憩いの場所づくり
- 火災予防のため防火対象物および危険物施設の防火管理体制の強化
- 消防団員や女性防火クラブなどの組織と連携した防火指導の実施
- 自主防災組織設置と食料や物資の備蓄に向けた取り組み

## 5 市民協働の推進および市政経営

- マイナンバーカードの取得促進および利活用の拡充
- 市民、市民団体、事業者および市がお互いの立場を尊重し協力する市民協働体制の構築
- さまざまな手段を活用して情報発信する開かれた市政運営

## 令和8年度予算

企業会計 76億4,692万7千円

特別会計 265億4,809万7千円

年度予算

一般会計 679億5,000万円

## 会計の区分について

- 一般会計** 福祉、教育、公共施設の整備、環境保全など市町村の基本的な施策を行うための会計です。
- 特別会計** 事業目的を限定し、特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計で、国民健康保険、介護保険などがあります。
- 企業会計** 独立採算による特定の事業を経理する会計で水道事業会計と下水道事業会計があります。